

- | | |
|--|--|
| <input type="radio"/> アクトネル錠 | <input type="radio"/> ボンビバ(静注・錠) |
| <input type="radio"/> ダイドロネル錠 | <input type="radio"/> リクラスト点滴静注液 |
| <input type="radio"/> フォサマック錠 | <input type="radio"/> アレンドロン酸ナトリウム (錠・点滴静注) |
| <input type="radio"/> ベネット錠 | <input type="radio"/> ミノドロン酸錠 |
| <input type="radio"/> ボナロン (錠・経ロゼリー・点滴静注) | <input type="radio"/> リセドロン酸ナトリウム錠 |
| <input type="radio"/> ボノテオ錠 | <input type="radio"/> ソレドロン酸点滴静注液 |
| <input type="radio"/> リカルボン錠 | <input type="radio"/> パミドロン酸二Na点滴静注用 |
| <input type="radio"/> ソメタ点滴静注 | <input type="radio"/> その他 |

年 月 日から **ビスホスホネート系薬剤**
(年 月 日まで) を使用しています



歯科・口腔外科の先生方へ

患者さんはビスホスホネート系薬剤の治療を受けているか、治療を受けたことがあります。

- 顎骨壊死・顎骨骨髓炎があらわれることがあるので、拔牙等の侵襲的歯科処置はできるかぎり避けてください。
- 処方の変更や中止の要否を処方医にご相談ください。
- 異常を感じた場合すみやかに受診するようにご説明ください。
- 口腔内を清潔に保つよう、ご指導ください。

S-2307
2018年6月改訂

歯科・口腔外科を受診する場合は
このカードをご提示ください

私はビスホスホネート系薬剤による
治療を受けています

病院名・薬局名(連絡先)

これからこの薬剤で 治療される患者さんへ



- 医師、歯科医師と相談の上、できるかぎり拔牙などの歯科治療は、この薬剤の治療を始める前に済ませてください。

この薬剤で治療中の患者さんへ

- ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ってください。
- 定期的な歯科検査を受けてください。
- 拔牙などの治療はできるかぎり避けるようにしてください。



- 下記の症状があらわれた場合は、医師、歯科医師、薬剤師などにご相談ください。

- あごの痛み
- 歯のゆるみ
- 歯ぐきの腫れ など